

霖雨ながめの晴はれぬる日ひに作つくる歌うた一首

四二一七番

卯うの花はなを 腐くたす霖雨ながめの 始水はなみづに 寄よるこつみなす
寄よらむ見こもがも

漁夫あまの火光いざりひを見みる歌うた一首

四二一八番

鮪しびつ突つくと 海人あまの燭ともせる いざり火ひの ほにか出い
ださむ 我わが下思したもひを

四二一九番

我わがやどの 萩はぎ咲さきにけり 秋風あきかぜの 吹ふかむを待ま
たば いと遠とほみかも